

真の日本一を決める長縄跳びの大会
日本全国どこからでも参加OK

ALL JAPAN 長縄選手権 2019

長縄8の字跳び部門

大縄跳び部門

ダブルダッチ部門

∞ 挑戦期間 ∞

2019年6月8日～2019年12月31日

(エントリー受付 2019年12月17日まで。結果は2020年1月14日発表予定)

☆参加資格はとってもシンプル！

∞ 挑戦した動画を撮って送るだけ ∞

(スマートフォン、ビデオカメラ等)

詳しくは、

検索

<https://fujinawa-8-3776-shizuoka.com/>



【開催部門】・・・3部門19カテゴリーで開催！

部門：8の字跳び、大縄跳び、ダブルダッチ

カテゴリー：A、B、C、Dの4つ

☆カテゴリーの基準は、ジャンパーが

A：小学生のみ B：未就学児～小学3年生 C：小学生4～6年生 D：中学生以上

≪8の字跳び部門≫

→ 長縄に1人ずつ入って跳んだ累計回数

- ①30秒スピード (A：小学生のみ)
- ②1分間スピード (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)
- ③3分間スピード (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)

※ターナー規定 A：小学生のみ、B、Cは2人とも小学生または、片方は中学生以上でもよい。
D:2人とも中学生以上または、片方は小学生以下でもよい。

≪大縄跳び部門≫

→ 1分間に大縄の中のジャンパーが両足で同時に跳んだ人数×回数

- ④1チーム12人以下 (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)
- ⑤1チーム13人以上 (B：未就学児～小学3年生 C：4～6年生 D：中学生以上)

※ターナー規定 A：小学生のみ、B、Cは2人とも小学生または、片方は中学生以上でもよい。
D:2人とも中学生以上または、片方は小学生以下でもよい。

≪ダブルダッチ部門≫

→ 3人で1チーム。2本の長縄を交互に回している(ダブルダッチ)中に入り、1人のジャンパーが両足跳びで跳んだ累計回数。

※ 跳び手は1人。ターナー2人。かけあし跳び×

- ⑥ダブルダッチ両足跳び30秒スピード
(B：未就学児～小学3年生、C：4～6年生、D：中学生以上)
- ⑦ダブルダッチ両足跳び1分スピード
(B：未就学児～小学3年生、C：4～6年生、D：中学生以上)

※ターナー規定：未就学児～中学生以上までの2人ペアなら誰でもよい。

【エントリー方法】

- ① 一般社団法人 E-JumpFuji のホームページよりエントリーを行う。

ホームページ URL <https://fujinawa-8-3776-shizuoka.com/>



ホームページ QR コード

- ② 選手個人の参加料は、無料。エントリー費は、部門やチームの人数に関わらず、1 カテゴリーにつき1チーム1,000円とする。

- ・参加チームのメンバーが18歳未満のみで構成されている場合、必ず18歳以上の保護者または学校の先生などの大人がエントリーの手続きをしてください。
- ・学校で出場する場合は、必ず校長先生の許可をもらってからエントリーしてください。
(エントリー受付後に、エントリー費の請求が行われます。ご了承ください。)
- ・選手が複数のチームに所属する選手の重複エントリーは可能とします。ただし、チーム全員が同じ選手で、同じ種目やカテゴリーに参加するといった「チーム重複エントリー」はできません。
- ・同じ責任者または保護者が、複数チームエントリーすることができます。ただし、1 カテゴリーにつき1チームに1,000円が必要となります。
(例：同じチームメンバーで、長縄8の字跳びの30秒スピードと1分間スピードに参加の場合、30秒スピードで1,000円、1分間スピードで1,000円となり、合計2,000円必要となる。)

- ③ エントリー後、一般社団法人 E-JumpFuji からのメールの返信の内容に沿ってエントリー費の支払いを行い、エントリー完了メールが届いたら、記録にチャレンジしたり、記録を送付したりできる。

- ・ルールなどに沿って、子どもも大人も日本一を目指して記録にチャレンジしてください。

- ④ 8の字跳び部門、大縄跳び部門のエントリーの際、学年や年齢のカテゴリー（①～③）は、チーム所属メンバー内の一番大きい学年の子どもの学年とする。

(例：チーム構成メンバーが1年生3人、2年生5人、6年生1人の場合→②の4～6年生にエントリーすることになる。)

ダブルダッチは、ジャンパーの学年や年齢のカテゴリーとなる。

エントリーの受付は2019年12月17日まで。跳戦は、12月31日まで。

【All Japan 長縄選手権2019エントリー特典】

- ① 記録チャレンジの練習動画を、長縄8の字跳びで静岡県の子どもたちとギネス記録を3つ打ち立てた、跳縄 Team E-Jump Fuji∞Sky の代表に送付し、アドバイスや練習方法を1回無料で受けることができる。(2回目、3回目の追加レッスンについては、要相談とします。)

- ② この大会へのエントリーをお仲間やお友達、別のチームやその他つながりのある団体へご紹介いただき、そのチームがエントリーを完了した場合、E-JumpFuji∞Sky が推奨する長縄8の字跳び推奨ロープ(ギネス記録達成時使用)または、個人なわとび用 E-JumpFuji 推奨ロープのどちらか1本受け取ることができる。

- ③ 一般社団法人 E-JumpFuji が推奨しているロープを購入することができる。

- ④ 一般社団法人主催のイベント、大会、合宿、講習会などの情報が一般公開より早く届く。
(情報の受け取りは希望制)

【チャレンジ方法】

①1回のエントリーで、2回まで記録を送ることができる。

- ・ 締め切り1カ月前（2019年12月1日24時）までに必ず1回は記録を提出してください。
- ・ 1カ月前までに記録の提出の確認ができないチームは、エントリー取り消しとします。その場合のエントリー費の返金はいたしません。
- ・ 記録を2回送付後、3回目・4回目と記録を送りたいときは、リベンジエントリーとなります。その場合、リベンジエントリー料として、500円をお支払いください。リベンジエントリーを申し込んだ場合、記録は追加で2回分再登録することができます。
- ・ さらに、5回目・6回目と記録を登録する場合は、再度リベンジエントリーを行うこととなります。再度エントリー料金をお支払いください。

②チャレンジの様子は、スマホやビデオカメラで撮影し、事務局へ送る。

- ・ スマホやタブレットの場合は、エントリー完了メールにあるLINEのQRコード（長縄選手権2019のライン）、またはホームページの本団体フェイスブックのタブからメッセージにて、動画とエントリー番号とチーム名を送付してください。
 - ・ パソコンで動画を送る場合は、ギガファイル便を利用し、fujinawa.8-3776@shizuoka.tnc.ne.jp まで動画とエントリー番号とチーム名を送付してください。
 - ・ 撮った動画をDVDで送る場合は、事務局まで郵送にて送ってください。その場合、ディスクにエントリー番号とチーム名を書き、必ずファイナライズを行ってください。
- ※ 動画は、必ずチャレンジしているターナーが画面内に必ず映るように、カメラを固定して撮影してください。（手で撮影機器を持って撮影する場合、手振れにご注意ください）

③チャレンジ期間終了後、最終順位を決定し、上位三位までに賞と副賞を授与（送付）する。

- ・ チャレンジ期間の締め切りは、2019年12月31日（火）の24時までとします。
 - ・ 郵送の場合、締め切り日の消印日まで有効とします。
 - ・ 各部門での参加チームの記録は表示せず、チーム名、参加チーム数、各部門やカテゴリでの順位のみ1週間に1回程度更新して公開します。また、2019年12月17日からは、順位公開の更新はいたしません。結果発表までお待ちください。
 - ・ 記録が同じ場合以下の優先順位で順位を決定いたします。
 - ①最終記録提出日が高い方
 - ②エントリー日時が高い方
 - ③ジャンパーの数が少ない方（8の字跳び、大縄部門に限る）
- ※①～③の規定でも順位決定がされないときは、どちらも表彰します。

【競技ルール】

○8の字跳び部門

≪30秒スピード≫

- ・ 1チーム3人以上14名以下にする。
- ・ カウントは、先頭の選手が跳び始めて足が地面から離れたところから、30秒間とする。
- ・ 何回つかかっても30秒の間なら何回でもリスタートできる。

- ・30秒になった時、地面に足がついていないジャンパーがいる時、その前のジャンパーまでをカウントする。
- ・つかえた時のジャンプは、カウントしない。
- ・記録は、「人（にん）」と表示する。
- ・ターナーは、両方とも小学生とする。
- ・ターナーの片方が中学生以上でのエントリーは参考記録となり、入賞対象から外れる。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さは4メートル以下とする。

《1分間スピード、3分間スピード》

- ・1チーム3人以上で構成する。（上限なし）
- ・カウントは、先頭の選手が跳び始めて足が地面から離れたところから、1分間または3分間とする。
- ・何回つかえても1分間または3分間の間なら何回でもリスタートできる。
- ・つかえた時のジャンプは、カウントしない。
- ・1分間または3分間になった時、地面に足がついていないジャンパーがいる時、その前のジャンパーまでをカウントする。
- ・記録は、「人（にん）」と表示する。
- ・小学生以下の部（①未就学児～小学3年生②4～6年生）では、ターナーの片方は、中学生以上の保護者や学校の先生、またはチーム責任者や監督などの大人が勤めることができる。
- ・ターナーが、両方中学生以上でのエントリーは、カテゴリー③中学生以上へととなる。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さも規定しない。

○大縄跳び部門

《D：12人以下でのチーム編成、E：13人以上でのチーム編成》

- ・1チーム3人以上12人以下または、13人以上で構成する。（2部門開催）
- ・ジャンパーが跳び始めてから、1分間がスタートする。
- ・記録は、「人（にん）」と表示する。
- ・1分間に**チームで跳んだ回数×ジャンパーの人数＝記録（人）**とする。
- ・何回つかえても1分間の間なら何回でもリスタートできる。
- ・つかえた時のジャンプは、カウントしない。
- ・1分間経過した時に、ジャンパーが空中にいる時は、その前までの回数で記録を計算する。
- ・1分間は、最初から最後までエントリーメンバーまたは、それ以下のメンバーで跳びきる。途中から、ジャンパーのメンバーが増えたり減ったりした場合の記録は、無効とする。
- ・小学生以下のカテゴリーでは、ターナーの片方は、中学生以上の保護者や学校の先生、またはチーム責任者や監督などが勤めることができる。
- ・ターナーが、両方中学生以上でのエントリーは、カテゴリー③中学生以上へととなる。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さも規定しない。

○ダブルダッチ部門

《ダブルダッチ30秒、ダブルダッチ1分》

- ・1チーム3人とする。

- ・カウントは、ジャンパーが跳び始めて足が地面から離れたところから、30 秒間とする。
- ・ジャンパーの跳び方は、**両足跳び**で行う。
- ・何回つかえても 30 秒の間なら何回でもリスタートできる。
- ・30 秒になった時、地面に足がついていない時、その前までをカウントする。
- ・つかえた時のジャンプは、カウントしない。
- ・記録は、「回（かい）」と表示する。
- ・ターナーは、未就学児から中学生以上の 2 人組なら誰でもよい。
- ・使用する縄の素材は何でもよい。長さも規定しない。

【表彰】

《8 の字跳び部門 30 秒スピード》

→1 位～3 位に賞状（チームで 1 枚）、個人の認定証（人数分）、副賞

※1 位のチームには、**第 4 回全国なわとびスピードコンテストに推薦枠として出場できる権利**が与えられる
（出場するか否かは任意。出場する場合、一般社団法人 E-JumpFuji から全国大会の交通費補助制度を受け
ることができる。）

《8 の字跳び部門 1 分間、3 分間、大縄跳び部門、ダブルダッチ部門》

→1 位から 3 位に賞状（チームで 1 枚）、個人の認定証（選手人数分）、副賞

○各部門に以下の特別賞を設ける（1 チームずつ）

- ・ **キズナ賞** → 家族での参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **タウンシップ賞** → 地域やクラブチーム等の参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **レッツ賞** → 学校のクラスの仲間での参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **チームワーク賞** → 会社の仲間との参加で、一番記録が多かった団体に贈られる。
- ・ **エイト賞** → 8 の字跳びに参加した団体の中で、チームの人数が一番少ない団体に贈られる。
同人数の場合、記録が上位のチームに贈られる。
- ・ **ガッツ賞** → 送られてきた動画の中で、チャレンジ後に気持ちよく家族や仲間たちと喜んでいるシーンが映っている団体に贈られる。

☆各賞、賞状（チームで 1 枚）

（表彰後のお願い）

送付された賞状や認定証をもったチームの集合写真を一般社団法人 E-JumpFuji の事務局へ送付する。（送付された写真は、ホームページ上にアップさせていただきます）